

# 今を読む



ウラジーミル・A・オルロフ

秋になってロシアの政治活動が活発になると、政治権力問題の解決に直接かかわる動きが出てくる。エリツィン大統領はいつ引退するのか、現議会の刷新はいつになるか、など、権力問題の解決である。主権国家ロシアの登場後、短い間に、政治権力の問題は既に一度、決着をみた。最初エリツィン大統領とその側近が共産党、そしてコルバチョフ・ソ連大統領という二つの政治権力を引退に追い込むことになった、一九九

ウクライナ領クリミア半島国のメシコフ大統領は十一日朝、テレビでラジコを通じた大統領令を布告、共和

国議を解散して新憲法章

ことで議会との対立が激化し、このレベルの議会活動を停止し、議員の資格を破棄するとして、議会は汚職グループに牛耳るとしている。

など各レベルの交渉が断絶している日米包括経済協議。大のヤマ場となりそうだ。は、十日までの交渉で突破

分野の一部分合意を提案

差は縮まっていけない。合意に達するかどうかは分らない(外務省高官)との慎重な見方もある。

## 憲法軽視するロシア

### 選挙、規定通り実施を

一年八月から同年十二月までの期間。二度目は昨年九月、十月、大統領が自らの政敵である副大統領と最高会議議長を解任し、議会制国家を大統領制共和国に転換した時期である。この転換は同年十二月の国民投票で採択された新憲法によって最終的に確定した。新憲法によると、下院(国

ウラジーミル・アンドレイビッチ・オルロフ氏 1968年10月、モスクワ生まれ。90年モスクワ関係大学を卒業。90年に週刊紙「モスクワ・ニューズ」に入り、現在、内政・治安問題担当の評論員。93年から役員会の一員も兼ねる。

主義を受け取られかねない譲歩をしないよう指示するだろう。二年に及ぶ消耗的な権力闘争の後、ロシアは今、切実に政治的安定を必要としている。こうした状況の下、政治家らは野心的で、無定見なシメイコ連邦会議(上院)議長

台湾の徐副院長 IDカードを申請 アジア大会組織委に

台湾の李登輝総統の広島アジア大会開会式(十月二日)への出席問題が注目されている中、台北駐日経済文化代表処の関係者は十一日までに、徐立德行政院副院長(副首相に相当)が台湾オリビック委員会のメンバーとして大会組織委員にIDカード(大会身分明書)発給を申請したことを明らかにした。